

鴨宮中学校吹奏楽部護衛艦見学支援

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、5月31日（日）、海上自衛隊横須賀基地において実施された、小田原市立鴨宮中学校の部隊見学を支援した。

この部隊見学は、鴨宮中学校吹奏楽部26名の生徒及び顧問の先生が、コンクール出場のため、演奏曲「イージスII」という楽曲のイメージアップのため行われた。当日は、護衛艦「てるづき」を見学し、サイドパイプやラッパの吹奏なども真近かに見ることもでき、生徒達は、「イメージアップを図ることが出来た」と話していた。翌日の朝練では、これまで以上に意欲を持って練習する姿が見られたという顧問からの連絡があった。

小田原地域事務所は、「今後も、中高生に対して、自衛隊を積極的に広報し、将来の自衛官募集につなげていきたい」としている。



ラッパの講義を受ける生徒達

防衛講話で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、高校やロータリークラブなどで、「自衛隊の編成と任務」と題し、講話を行った。

講話を行ったのは、私立向上高等学校（伊勢原市・3年生22名）、星槎国際高等学校（中郡大磯町・1〜3年生130名）、県立平塚工科高等学校（平塚市・3年生7名）及び平塚南ロータリークラブ（平塚市・会員23名）の4か所で、自衛隊の編成と任務をはじめ、東日本大震災時の活動状況や自衛官の日常生活の様子などを、写真を使い説明を行った。生徒からは、「自衛隊には、防衛大学校をはじめ防衛医科大学等の機関や、多種多様な職種があることを知り、自衛隊に興味を沸いた」、またロータリークラブの方々からは、「自衛官の就職援護について興味を持った」という感想が聞かれた。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊を正しく理解して頂き、募集及び援護基盤の拡充に努めていく」としている。



向上高校の講話の様子



星槎高校の講話の様子



ロータリークラブの講話の様子